

令和           年度 目標申告シート		所属	第一次評価者			第二次評価者		
職名	職員コード	氏名	性別	年齢(年度末)	歳	在職(在校)年数	年   月(   年   月)	
学校教育目標 (重点目標)								

項目	当初申告			中間申告		最終申告		項目評価	
	本年度の具体的目標	目標達成に向けた具体的手立て (何を、いつまでに、どのように、どれくらい)	難易度	進捗状況・成果と課題(記述)	自己評価	成果と課題(記述)	自己評価	一次評価	二次評価
学校経営									
	(修正・追加等)								【備考・特記事項】
教育内容の管理									
	(修正・追加等)								【備考・特記事項】
職員の管理・育成									
	(修正・追加等)								【備考・特記事項】
	(修正・追加等)								【備考・特記事項】
	(修正・追加等)								【備考・特記事項】
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				業績総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 難易度はS・A・Bの3段階、各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(校長)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価				
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価		二次評価		
1 倫理 規律遵守	県民全体(地域)の奉仕者として、責任を持って職務を遂行するとともに、教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	責任感	県民全体(地域)の奉仕者として、校長の職責を踏まえ、職務に最後まで責任を持って取り組む。					一次評価		二次評価	
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】			
		不祥事防止	不祥事や学校事故等の防止に向けた取組及び不祥事を起こさない職場の体制づくりを積極的に行う。								
2 学校経営	学校を取り巻く状況を的確に把握し、課題に対応するための方針を示すとともに、学校教育目標の実現に向けて取り組む。	理念・識見	校長として必要な理念・識見を有し、国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、学校経営に取り入れる。					一次評価		二次評価	
		目標設定	明確な学校経営ビジョンを持ち、適切な学校教育目標を設定し、その実現に向け計画的な学校運営を推進する。					【備考・特記事項】			
		組織の活性化	学校教育目標の実現に向けて、学校運営組織を構成し、的確な指示及び進捗管理を行い、教職員全員で協力し合う体制を構築する。								
		課題解決	自校の抱える運営上の課題や学校を取り巻く状況を的確に把握し、迅速に対応し解決する。								
		安全・危機管理	教職員の安全危機管理に対する意識を高め、トラブルに対して組織的に取り組む体制を整備するとともに、未然防止の取組を行う。								
		事務管理	諸表簿の整備、文書等の発行・管理、諸会計に関する業務等の校務を法令等に基づき適正に管理する。								
		施設・設備管理	学校施設設備等について、事故の防止に向けて改善や点検を行うとともに、環境整備に努め、有効活用が図れるよう関係機関との連携を図る。								
開かれた学校づくり	保護者や地域の実態、要望等を的確に把握するとともに、学校の情報を適切に発信し、保護者や地域、関係機関等と連携した、学校運営を行う。										
3 教育内容の 管理	法令等に基づき、学校の特徴を生かした教育課程の実施や学校運営上の組織を構築し、充実した教育活動を行う。	教育課程の編成	学習指導要領、学校教育指導の指針に基づいた適切な教育課程を編成し、実施するとともに、児童生徒の実態に応じた特色ある教育活動を展開する。					一次評価		二次評価	
		校内研修	職員が質の高い教育や児童生徒一人一人に応じた教育を実践できるよう、校内研修の推進を図るとともに、適切な指導助言を行う。					【備考・特記事項】			
4 職員の 管理・育成	職員一人一人の服務、健康管理に努めるとともに、有効な人材活用と人材育成を行い、個々の職能開発、資質向上に取り組む。	服務・健康管理	教職員の適正な服務管理、健康管理に努め、各教職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導助言を行う。								
		人材活用	日常のコミュニケーションを大切に、職員一人一人の能力や適性を基に、人材育成の視点を踏まえた職員配置を行うとともに、校務が円滑に行われるように調整する。					【備考・特記事項】			
		人材育成	職員の能力や業務実態を把握して課題を見出し、改善に向けた指導や助言を行い、適切に評価しフィードバックする。								
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価			

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和           年度 目標申告シート				所属	第一次評価者			第二次評価者			
職名		職員 コード		氏名	性別	年齢(年度末)	歳	在職(在校)年数	年	月(    年    月)	
担当学年・担任等				担当教科	校務分掌等						
学校教育目標 (重点目標)											

項目	当初申告			中間申告		最終申告		項目評価		
	本年度の具体的目標	目標達成に向けた具体的手立て (何を、いつまでに、どのように、どれくらい)	難易度	進捗状況・成果と課題(記述)	自己 評価	成果と課題(記述)	自己 評価	一次 評価	二次 評価	
組織 運営	【重点目標】									【備考・特記事項】
	(修正・追加等)									
教育 内容 の 管 理	【重点目標】									【備考・特記事項】
	(修正・追加等)									
職 員 の 管 理 ・ 育 成	【重点目標】									【備考・特記事項】
	(修正・追加等)									
	【重点目標】									【備考・特記事項】
	(修正・追加等)									
	【重点目標】									【備考・特記事項】
	(修正・追加等)									
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】						業績総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 難易度はS・A・Bの3段階、各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(副校長・教頭)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	----------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価					
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】						
1	倫理 規律遵守	県民全体(地域)の奉仕者として、責任を持って職務を遂行するとともに、教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	責任感	県民全体(地域)の奉仕者として、副校長・教頭の職責を踏まえ、職務に最後まで責任を持って取り組む。					一次評価		二次評価	
			規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。						【備考・特記事項】		
			不祥事防止	不祥事や学校事故等の防止に向けた取組及び不祥事を起こさない職場の体制づくりを積極的に行う。								
2	組織運営	校長を助け、学校を取り巻く状況を的確に把握し、課題に対応するための方針を示すとともに、学校教育目標の実現に向けて取り組む。	理念・識見	国や県、市町村の教育関連施策等を理解し、業務に関し必要な報告や的確な進言を行う。					一次評価		二次評価	
			目標設定	学校の教育課題等を踏まえた、適切な学校教育目標の設定について、必要な報告や的確な進言を行う。					【備考・特記事項】			
			組織の活性化	学校教育目標の実現に向けて、学校組織を効果的に運営し、教職員全員で協力し合う体制を構築する。								
			課題解決	自校の抱える運営上の課題や学校を取り巻く状況を把握分析し、必要な報告や適切な進言を行い、迅速に対応し解決する。								
			安全・危機管理	校長を助け、教職員の安全危機管理に対する意識を高め、組織的に取り組む体制を整備するとともに、未然防止の取組を行う。								
			事務管理	諸表簿の整備、文書等の発行・管理、諸会計に関する業務等の校務を、校長を助け、法令等に基づき適正に管理する。								
			施設・設備管理	学校施設設備等について、事故の未然防止に向けて改善や点検を行うとともに、環境整備に努め、有効活用が図れるよう関係機関との連携を図る。								
			開かれた学校づくり	保護者や地域の実態、要望等を的確に把握するとともに、学校の情報を適切に発信し、外部と連携した学校運営に資する。								
3	教育内容の 管理	校長を助け、法令等に基づき、学校の特徴を生かした教育課程の実施や学校運営上の組織を構築し、充実した教育活動を行う。	教育課程の編成	学習指導要領等に基づいた適切な教育課程の編成、実施及び児童生徒の実態に応じた教育活動の展開について、指導・助言を行うとともに、必要な報告や的確な進言を行う。					一次評価		二次評価	
			校内研修	職員が質の高い教育や児童生徒の一人一人に応じた教育を実践できるよう、校長を助け、校内研修の推進を図るとともに、適切な指導助言を行う。					【備考・特記事項】			
4	職員の 管理・育成	校長を助け、職員一人一人の服務、健康管理に努めるとともに、有効な人材活用と人材育成を行い、個々の職能開発、資質向上に取り組む。	服務・健康管理	教職員の適正な服務管理、健康管理に努め、各教職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導助言を行う。					一次評価		二次評価	
			人材活用	職員一人一人の能力や適性を基に、人材育成の視点を踏まえた職員配置に努め、校務が円滑に行われるように調整する。					【備考・特記事項】			
			人材育成	日常のコミュニケーションを大切に、職員の能力や業務実態を把握して課題を見出し、改善に向けた指導や助言を行うとともに、適切に評価しフィードバックする。								
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】					能力総合評価				

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(主幹教諭)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	--------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1 倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。						
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
								【備考・特記事項】	
2 教育内容の 管理補助	管理職を助け、法令等に基づき、学校の特徴を生かした教育課程の実施や学校運営上の組織を構築し、充実した教育活動を行う。	教育課程の実施	学校等の実態を踏まえた教育課程の実施及び児童生徒の実態に応じた教育活動の展開について、管理職を助けるとともに必要に応じて他の職員に助言を行う。					一次評価	二次評価
		組織の活性化	管理職を助け、学校教育目標の実現に向けて、学校運営組織を効果的に運営し、教職員全員で協力し合う体制を構築する。						
		指導改善	職員が質の高い教育や児童生徒の一人一人に応じた教育を実践できるよう、他の職員に対して適切な助言を行う。						
								【備考・特記事項】	
3 学習指導 生徒指導等	児童生徒理解に努め、学習指導・生徒指導等に関する専門的知識・技能を持ち、適切な指導を行うとともに他の職員への助言を行う。	児童生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の児童生徒の発達段階に則した確かな児童生徒理解に努めるとともに、必要に応じて他の職員への助言を行う。					一次評価	二次評価
		知識・技能	他の職員への適切な指導・助言が行えるよう、学習指導・生徒指導等に関する高度な専門的知識・技能を身に付ける。						
		学習指導	学習指導に関する専門的知識・技能を持ち、児童生徒の基礎学力の定着や学力の向上に向け、わかる授業の展開に努めるとともに、個に応じた適切な指導をする。						
		生徒指導	生徒指導に関する専門的知識・技能を活用し、学校生活の様々な場面で、児童生徒理解に基づいた指導・支援を行う。						
		指導改善	児童生徒の実態や学習の状況に即して、指導体制や指導方法の工夫・改善に取り組むなど必要な手立てを講じるとともに、他の職員への指導・助言を行う。						
								【備考・特記事項】	
4 学校運営	管理職を助け、学校運営上の課題や自らの役割を理解し、必要に応じて企画・運営に参画するとともに、他の職員への助言を行う。	職務遂行	管理職を助け、必要な知識や教育施策等に関する識見を持ち、職責に基づいて学校運営に取り組んでいる。					一次評価	二次評価
		課題解決	学校の教育課題を踏まえた学校教育目標の設定及び実現に向け、他の職員に助言するとともに必要な報告や的確な進言を行う。						
								【備考・特記事項】	
5 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職を助け、職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		保護者等との連携	学校運営に係る情報の収集や発信を行うとともに、保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。						
								【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(教諭・助教諭・講師)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	-------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1 倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2 学習指導等	学習指導に関する専門的知識・技能を活用し、適切な指導計画を作成するとともに、わかる授業を展開し、学習指導上の課題に対して指導方法の工夫・改善を行う。	指導計画	児童生徒の実態に応じて、教科・科目・領域の指導目標を達成するための適切な指導計画を作成する。					一次評価	二次評価
		指導実践	学習指導に関する専門的知識・技能を持ち、児童生徒の基礎学力の定着や学力の向上に向け、わかる授業の展開に努めるとともに、個に応じた適切な指導をする。					【備考・特記事項】	
		評価・改善	適切な評価を行い、指導体制や指導方法の工夫・改善に取り組むなど必要な手立てを講じる。						
		キャリア教育	すべての教育活動を通して、児童生徒が自ら将来の進路の選択、計画ができるよう必要な基盤となる能力や態度を育てる。						
3 生徒指導等	学校生活の様々な場面で確かな児童生徒理解に努め、生徒指導等に関する専門的知識・技能を活用し、組織的に適切な指導を行う。	児童生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の児童生徒の発達の段階に則した確かな児童生徒理解に努めるとともに、必要に応じて他の職員への助言を行う。					一次評価	二次評価
		指導実践	生徒指導に関する専門的知識・技能を活用し、学校生活の様々な場面で、児童生徒理解に基づいた指導・支援を行う。					【備考・特記事項】	
		特別活動等	特別活動等の内容に則して、豊かな人間性や社会性を育成するため、児童生徒の実態に応じた指導計画を作成し、指導を行う。						
		健康安全	心身の発達に応じて、健康で安全な生活を送る能力と態度を育成するための指導を行う。						
		課題への対応	いじめや暴力行為、不登校等、個別の課題を抱える児童生徒に対して、組織的に対応し、実態に応じた適切な指導を行う。						
4 校務分掌等	学校運営上の課題や自らの役割を理解し、積極的に活動するとともに、担当する校務を適切に遂行し、課題解決に努める。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、組織的に取り組めるよう主体的に行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌	校務分掌における役割を理解し、分掌の計画を作成し、校務の処理を行う。					【備考・特記事項】	
5 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校(分掌・学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(拠点校方式初任研指導教員・特別支援学校初任者指導教員)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	------------------------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	倫理規律遵守研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。 (初任者への指導・助言を含む)	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。			一次評価	二次評価
			規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。			【備考・特記事項】	
			研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。				
2	学習指導等	初任者が、学習指導に関する専門的知識・技能を身につけ、適切な指導計画を作成し、わかる授業の展開のため、学習指導上の課題に対して指導方法の工夫・改善を行い、指導力の向上が図れるよう指導・助言を行う。	指導計画	初任者が、児童生徒の実態に応じて、教科・科目・領域の指導目標を達成するための適切な指導計画を作成できるよう指導・助言を行う。			一次評価	二次評価
			指導実践	初任者が、学習指導に関する専門的知識・技能を身につけ、児童生徒の基礎学力の定着や学力の向上に向け、わかる授業の展開に努めるとともに、個に応じた適切な指導が行えるよう指導・助言を行う。			【備考・特記事項】	
			評価・改善	初任者が、適切な評価を行い、指導体制や指導方法の工夫・改善に取り組むなど必要な手立てを行えるよう指導・助言を行う。				
			キャリア教育	初任者が、すべての教育活動を通して、児童生徒が自ら、将来の進路の選択、計画ができるように基盤となる能力や態度を育てることができるよう指導・助言を行う。				
3	生徒指導等	初任者が、学校生活の様々な場面で確かな児童生徒理解に努め、生徒指導等に関する専門的知識・技能を身につけ、適切な指導が行えるように日常の教育活動全般を通して指導・助言を行う。	児童生徒理解	初任者が、教育相談について基礎的な力量を身に付け、個々の発達の段階に則した児童生徒理解に努め、信頼関係を築けるよう指導・助言を行う。			一次評価	二次評価
			指導実践	初任者が、生徒指導に関する専門的知識、技能を身につけ、学校生活の様々な場面で、児童生徒理解に基づいた指導・支援を行えるよう指導・助言を行う。			【備考・特記事項】	
			特別活動等	初任者が、特別活動等の内容を理解し、児童生徒の実態に応じた指導計画を作成するとともに、豊かな人間性や社会性を育成できるよう指導・助言を行う。				
			健康安全	初任者が、児童生徒の心身の発達に応じて、健康で安全な生活を送る能力と態度を育成できるよう指導・助言を行う。				
			課題への対応	初任者が、いじめや暴力行為、不登校等、個別の課題を抱える児童生徒に対して、実態に応じた適切な指導ができるよう指導・助言を行う。				
4	校務分掌等	初任者が、学校運営上の課題や自らの役割を理解し、積極的に活動するとともに、担当する校務を適切に遂行し、課題解決に努めることができるよう指導・助言を行う。	学校運営	初任者が、目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、組織的に取り組めるよう指導・助言を行う。			一次評価	二次評価
			校務分掌	初任者が、校務分掌における役割を理解し、計画の作成等適切な処理ができるよう指導・助言を行う。			【備考・特記事項】	
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。 (初任者への指導・助言を含む)	職員間の連携	職員間で学校(分掌・学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。			一次評価	二次評価
			保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。			【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(高等学校就職支援担当教員・ 特別支援学校就労支援コーディネーター)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	---------------------------------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	倫理 規律遵守 研修	生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。				一次評価	二次評価
			規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				【備考・特記事項】	
			研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	生徒指導等	学校生活の様々な場面で確かな生徒理解に努め、生徒指導等に関する専門的知識・技能を活用し、組織的に適切な指導を行う。	生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の発達の段階に則した生徒理解に努め、信頼関係を築く。				一次評価	二次評価
			指導実践	生徒指導に関する専門的知識・技能を活用し、学校生活の様々な場面で、生徒理解に基づいた指導・支援を行う。				【備考・特記事項】	
3	校務分掌等	学校運営上の課題や自らの役割を理解し、積極的に活動するとともに、担当する校務を適切に遂行し、課題解決に努める。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、組織的に取り組めるよう主体的に行動する。				一次評価	二次評価
			校務分掌	校務分掌における役割を理解し、分掌等の計画を作成し、校務の処理を行う。				【備考・特記事項】	
4	就職支援	生徒の希望する進路に応じた就職先が確保できるよう、企業訪問等を通じて求人企業の開拓を行うとともに、求人情報の整理と情報の発信を行う。 生徒一人一人の適性や能力に応じて、進路選択のための的確な指導・助言を行うことにより、生徒の自己実現を支援する。	情報収集	生徒の一人一人のニーズを把握し、それぞれの進路希望が実現するよう積極的に企業訪問等を行い、求人企業の開拓を行う。				一次評価	二次評価
			就職支援事務	求人票の整理や、求人企業からの来客及び電話対応を行うとともに、生徒に対して求人情報等の積極的な発信を行う。				【備考・特記事項】	
			進路相談	生徒の進路に係る悩みや疑問に対して、生徒・保護者の立場に立ち、生徒個々の適性や能力に応じて、担任と連携しつつ、的確な指導・助言を行う。					
			就職対策指導	履歴書等の就職に係る書類の作成や、面接及び作文等の指導を行い、進路実現に向けた適切な支援を行う。					
			キャリア教育	生徒が自ら、将来の進路の選択、計画ができるよう必要な基盤となる能力や態度を育てる。					
			インターンシップ	進路指導担当者等と連携し、インターンシップについて、企画立案するとともに、事前、巡回、事後指導を適切に行い、円滑な実施を図る。					
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校(分掌・学年等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。				一次評価	二次評価
			保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。				【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。



<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(訪問相談担当教員)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	学習指導に関する適切な指導計画を作成するとともに、学習指導上の課題に対して指導方法の工夫・改善を行う。	指導計画	児童生徒の実態に応じて、適切な学習指導計画を作成する。					一次評価	二次評価
		指導実践	児童生徒の基礎学力の定着や学力の向上に向け、個に応じた適切な指導を行う。					【備考・特記事項】	
		改善	指導体制や指導方法の工夫・改善に取り組むなど必要な手立てを講じる。						
		キャリア教育	児童生徒が自ら、将来の進路の選択、計画ができるよう必要な基盤となる能力や態度を育てる。						
3	確かな児童生徒理解に努め、生徒指導等に関する専門的知識・技能を活用し、組織的に適切な指導を行う。	児童生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の発達の段階に則した児童生徒理解に努め、信頼関係を築く。					一次評価	二次評価
		指導実践	生徒指導に関する専門的知識・技能を活用し、児童生徒理解に基づいた指導・支援を行う。					【備考・特記事項】	
		健康安全	心身の発達に応じて、健康で安全な生活を実践する能力と態度を育成するための指導を行う。						
		課題への対応	いじめや暴力行為、不登校等、個別の課題を抱える児童生徒に対して、組織的に対応し、実態に応じた適切な指導を行う。						
4	訪問相談担当教員としての使命感を持ち、家庭訪問等を通じて、不登校児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、学校、家庭及び関係機関と連携し、適切な支援を行う。	家庭訪問	家庭との連絡を密にし、定期的に家庭訪問を行い、不登校児童生徒並びにその保護者に、適切な支援を行う。					一次評価	二次評価
		自立支援	不登校児童生徒の状況や課題を把握し、適切な指導・助言を行い、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう支援を行う。					【備考・特記事項】	
5	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で児童生徒の状況や課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで不登校児童生徒の学校及び学級復帰に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(養護教諭・養護助教諭)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	--------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。				一次評価	二次評価
			規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				【備考・特記事項】	
			研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	保健管理	児童生徒の心身の健康状態を的確に把握・分析し、学校の実態に応じた保健管理、保健室経営等を実施し、その工夫・改善に取り組む。	知識・技能把握・分析	学校保健に関する専門的知識・技能に基づいて、児童・生徒の心身の健康状態や学校環境衛生等を把握・分析し、対人管理及び対物管理に活用する。				一次評価	二次評価
			保健室経営	保健室経営計画を作成し、適切な保健室管理を行うとともに、学校の実態に応じて、その工夫・改善に取り組む。				【備考・特記事項】	
			健康診断・健康相談	定期的、日常的に健康診断・健康相談等を実施し、児童生徒の心身の健康課題の早期発見・対応に取り組む。					
			救急処置	救急体制の整備と周知に努め、緊急時には的確な救急対応・処置を行う。					
3	保健教育	心身ともに健康な児童生徒の育成を目指し、学校や児童生徒の実態に応じた保健教育を職員等と連携して実践し、その工夫・改善に取り組む。	児童生徒理解	養護教諭の職務の特質を生かし、個々の児童生徒の発達の段階に則した確かな児童生徒理解に努め、信頼関係を築く。				一次評価	二次評価
			指導内容	日常生活における指導や子供の実態に応じた個別指導を行うとともに、学校の実態に応じ、特別活動や関連教科等においても、関連職員と連携して指導を行う。				【備考・特記事項】	
			能力育成	児童生徒が自らの健康について判断し、行動できるような実践的な能力を育むため、発達段階に応じた指導を行う。					
			情報発信	保健情報を積極的に収集・分析し、児童生徒や職員・保護者等に対し、適切な情報を効果的に発信する。					
4	校務分掌等	学校運営上の課題や自らの役割を理解し、積極的に活動するとともに、担当する校務を適切に遂行し、課題解決に努める。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、組織的に取り組めるよう主体的に行動する。				一次評価	二次評価
			校務分掌	校務分掌における役割を理解し、分掌の計画を作成し、校務の処理を行う。				【備考・特記事項】	
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校(保健指導・分掌等)運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。				一次評価	二次評価
			医療機関との連携	児童生徒の健康診断等の学校保健業務が円滑に実施できるよう、学校医、学校薬剤師等との連携を図る。				【備考・特記事項】	
			連携指導・支援	児童生徒の健康問題に関して、状況把握や情報収集を行い、職員、保護者、専門機関と連携を図りながら適切な指導・支援を行う。					
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】				能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(栄養教諭)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	--------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	給食・栄養等に関する専門的知識・技能を基に、児童生徒の食生活の実態や要望を把握し、安全・安心な学校給食の管理・運営において、中心的な役割を果たす。	知識・技能	給食・栄養等に関する専門的知識や技能を持ち、学校給食の管理・運営に活用している。					一次評価	二次評価
		計画等作成	児童生徒の食生活の実態把握に努め、実態や要望に即した給食計画を作成する。					【備考・特記事項】	
		衛生管理	食材の選定・保管、施設・設備及び食器類の衛生に関する日常点検及び衛生管理を確実に行う。						
		環境整備・管理	児童生徒が安全・安心に楽しく食事ができるよう、情報を積極的に収集・分析し、環境整備や給食管理を工夫・改善する。						
3	学校教育全体をとおした食育の推進を図り、健全な食生活を実践することのできる能力育成に取り組む。	児童生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の児童生徒の発達の段階に則した確かな児童生徒理解に努め、信頼関係を築く。					一次評価	二次評価
		計画等作成	学級担任や学年等と連携・調整を図り、教科や特別活動の指導内容と関連させて食に関する指導の全体計画を作成する。					【備考・特記事項】	
		授業や給食時間等の指導	授業や給食時間及び個別的な相談等を通して、児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるよう指導を行う。						
		情報提供	食に関する専門的知識や収集した情報に基づき、児童生徒や職員、家庭等へ食生活の改善につながる情報提供を行う。						
4	学校給食や食育の充実に向けて、学校運営上の課題や自らの役割を理解し、課題解決に積極的に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校給食や食育の充実に向けて、組織的に取り組めるよう主体的に行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌	校務分掌における役割を理解し、担当する校務を適切に遂行する。					【備考・特記事項】	
5	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

<b>令和</b>	<b>年度 職務能力発揮シート</b>	(実習助手)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
-----------	---------------------	--------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価	
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】		
1	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	児童生徒が安全な環境で充実した学習、実験、実習等が行われるよう、教諭と連携して事前準備等を行い、教諭を適切に支援する。	安全管理	安全な環境で学習、実験、実習等が行えるよう、実習室、準備室等の防災安全管理や機材、備品等の整理整頓等を適切に行う。					一次評価	二次評価
		備品整備・台帳管理	充実した学習、実験、実習等が円滑に行えるよう、施設・設備の整備や台帳管理等を適切に行う。					【備考・特記事項】	
		準備・事後処理	教諭と連携して、学習、実験、実習等の準備、事後処理を行う。						
		援助・支援	教諭と連携して、学習、実験、実習等の指導補助や支援を児童生徒の実態に応じて適切に行う。						
情報提供	教諭の要請に対して、学習、実験、実習等の実態について、情報提供を行う等適切な支援や援助を行う。								
3	確かな児童生徒理解に努め、生徒指導等に関する専門的知識・技能を活用し、組織的に適切な指導を行う。	生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の生徒の発達の段階に則した児童生徒理解に努め、信頼関係を築く。					一次評価	二次評価
		生徒指導	生徒指導に関する専門的知識、技能を活用し、学校生活の様々な場面で、児童生徒理解に基づいた指導・支援を行う。					【備考・特記事項】	
		健康安全	児童生徒一人一人の健康や安全に十分配慮した指導・支援を行う。						
4	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、組織的に取り組めるよう主体的に行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌	校務分掌における役割を理解し、担当する校務を適切に遂行する。					【備考・特記事項】	
5	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(寄宿舎指導員)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	----------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】			
1 倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 教育公務員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	教育公務員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	教員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2 生活指導	児童生徒理解に努め、望ましい信頼関係を築き、実態に応じた適切な日常生活の支援及び生活指導を行う。	児童生徒理解	教育相談について基礎的な力量を身に付けており、個々の児童・生徒の発達の段階に則した児童生徒理解に努め、信頼関係を築く。					一次評価	二次評価
		知識・技能	寄宿舎指導等に関する専門的知識・技能を持ち、生活指導に活用している。					【備考・特記事項】	
		指導・支援	児童生徒の実態に基づき、一人一人に応じた指導計画を作成し、それに基づく指導・支援を行う。						
		健康安全	児童生徒の心身の発達に応じて、健康や安全に配慮した日常生活の支援及び生活指導を行う。						
		問題行動対応	児童生徒の問題行動に対して、組織的に対応し、実態に応じた適切な指導を行う。						
3 寄宿舎管理・ 運営	安全・安心な寄宿舎環境を整備し、関係者と連携して、児童生徒の実態を把握し、適切な寄宿舎の管理・運営を行う。	安全管理	安心して過ごせる安全な寄宿舎環境の整備に向けて、事故の未然防止や防災・安全対策等に取り組む。					一次評価	二次評価
		指導計画	児童生徒の実態に合わせて、寄宿舎運営上の課題や自らの役割を理解し、学校教育目標を踏まえた寄宿舎指導計画を作成する。					【備考・特記事項】	
		寄宿舎運営	児童生徒の実態に応じた寄宿舎行事等を計画し、実施する。						
		緊急対応	緊急体制の整備と児童生徒への周知に努め、緊急時には的確な対応・処置を行う。						
4 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で寄宿舎管理上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】				能力総合評価		

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(上席専門員)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	---------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】			
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
			研究・修養	学校栄養職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	給食管理	給食・栄養等に関する十分な専門的知識・技能を基に、児童生徒の食生活の実態や要望を的確に把握し、安全・安心な学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	知識・技能	給食・栄養等に関する十分な専門的知識や技能を持ち、給食管理の運営に活用している。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			計画等作成	児童生徒の食生活の的確な実態把握に努め、実態や要望に即した給食計画を作成する。					
			衛生管理	食材の選定・保管、施設・設備及び食器具類の衛生に関する日常点検及び衛生管理を迅速かつ確実に行う。					
			環境整備・管理	児童生徒が安全・安心に楽しく食事ができるように、情報を積極的に収集・分析し、進んで環境整備や給食管理を工夫・改善する。					
3	食育の推進	学校教育全体をととした食育の推進を図り、健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を支援する。発達段階に応じた指導の在り方について専門的知識を深める。	食に関する指導の支援	児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるように、担任教諭を補佐し、食に関する指導の支援を行う。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			情報提供	食に関する専門的な知識や収集した情報に基づき、児童生徒や職員、家庭等へ食生活の改善につながる情報提供を行う。					
4	校務分掌等	学校給食や食育の充実に向けて、学校運営上の課題や自らの役割を的確に理解し、課題解決に積極的に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校給食や食育の充実に向けて、主体的に行動する。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			校務分掌	校務分掌における役割を的確に理解し、担当する校務を適切に遂行する。					
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに進んで保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、粘り強く調整・連携して職務に取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			保護者等との連携	保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】				能力総合評価		

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(専門員)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	-------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価			
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】				
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。				一次評価		二次評価	
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				【備考・特記事項】			
			研究・修養	学校栄養職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。							
2	給食管理	給食・栄養等に関する十分な専門的知識・技能を基に、児童生徒の食生活の実態や要望を把握し、安全・安心な学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	知識・技能	給食・栄養等に関する十分な専門的知識や技能を持ち、給食管理の運営に活用している。				一次評価		二次評価	
			計画等作成	児童生徒の食生活の実態把握に努め、実態や要望に即した給食計画を作成する。				【備考・特記事項】			
			衛生管理	食材の選定・保管、施設・設備及び食器具類の衛生に関する日常点検及び衛生管理を確実に実行する。							
			環境整備・管理	児童生徒が安全・安心に楽しく食事ができるよう、情報を積極的に収集・分析し、環境整備や給食管理を工夫・改善する。							
3	食育の推進	学校教育全体をととした食育の推進を図り、健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を支援する。発達段階に応じた指導の在り方について専門的知識を習得する。	食に関する指導の支援	児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるように、担任教諭を補佐し、食に関する指導の支援を行う。				一次評価		二次評価	
			情報提供	食に関する専門的な知識や収集した情報に基づき、児童生徒や職員、家庭等へ食生活の改善につながる情報提供を行う。				【備考・特記事項】			
4	校務分掌等	学校給食や食育の充実に向けて、学校運営上の課題や自らの役割を理解し、課題解決に積極的に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校給食や食育の充実に向けて、積極的に行動する。							
			校務分掌	校務分掌における役割を理解し、担当する校務を適切に遂行する。				【備考・特記事項】			
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。							
			保護者等との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。				【備考・特記事項】			
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】						

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(主任技師)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	--------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】			
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。			一次評価	二次評価	【備考・特記事項】
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
			研究・修養	学校栄養職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	給食管理	給食・栄養等に関する専門的知識・技能を基に、児童生徒の食生活の実態や要望を把握し、安全・安心な学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	知識・技能	給食・栄養等に関する専門的知識や技能を持ち、給食管理の運営に活用している。			一次評価	二次評価	【備考・特記事項】
			計画等作成	児童生徒の食生活の実態把握に努め、実態や要望に即した給食計画を作成する。					
			衛生管理	食材の選定・保管、施設・設備及び食器具類の衛生に関する日常点検及び衛生管理を確実にを行う。					
			環境整備・管理	児童生徒が安全・安心に楽しく食事ができるよう、情報を収集・分析し、環境整備や給食管理を工夫・改善する。					
3	食育の推進	学校教育全体をとおした食育の推進を図り、健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を支援する。発達段階に応じた指導の在り方について知識を深める。	食に関する指導の支援	児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるように、担任教諭を補佐し、食に関する指導の支援を行う。			一次評価	二次評価	【備考・特記事項】
			情報提供	食に関する専門的知識や収集した情報に基づき、児童生徒や職員、家庭等へ食生活の改善につながる情報提供を行う。					
4	校務分掌等	学校給食や食育の充実に向けて、学校運営上の課題や自らの役割を理解し、課題解決に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校給食や食育の充実に向けて、意欲的に行動する。			一次評価	二次評価	【備考・特記事項】
			校務分掌	担当する校務を計画的かつ適切に遂行する。					
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、必要に応じて管理職の指示を仰ぎながら、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。			一次評価	二次評価	【備考・特記事項】
			保護者等との連携	必要に応じて管理職の指示を仰ぎながら保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】				能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。



令和	年度 職務能力発揮シート	(技師)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価			
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】				
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。				一次評価		二次評価	
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。				【備考・特記事項】			
			研究・修養	学校栄養職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。							
2	給食管理	給食・栄養等に関する専門的知識・技能を習得し、児童生徒の食生活の実態や要望を把握し、安全・安心な学校給食の運営において、中心的な役割を果たす。	知識・技能	給食・栄養等に関する専門的知識や技能を習得し、給食管理の運営に活用している。				一次評価		二次評価	
			計画等作成	児童生徒の食生活の実態把握に努め、実態や要望に即した給食計画を作成する。				【備考・特記事項】			
			衛生管理	食材の選定・保管、施設・設備及び食器具類の衛生に関する日常点検及び衛生管理を確実にを行う。							
			環境整備・管理	児童生徒が安全・安心に楽しく食事ができるよう、情報を収集・分析し、環境整備や給食管理の工夫・改善に取り組んでいる。							
3	食育の推進	学校教育全体をとおした食育の推進を図り、健全な食生活を実践することのできる能力育成の取組を支援する。発達段階に応じた指導の在り方について知識を習得する。	食に関する指導の支援	児童生徒が食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられるように、担任教諭を補佐し、食に関する指導の支援を行う。				一次評価		二次評価	
			情報提供	食に関する専門的知識や収集した情報に基づき、児童生徒や職員、家庭等へ食生活の改善につながる情報提供を行う。				【備考・特記事項】			
4	校務分掌等	学校給食や食育の充実に向けて、学校運営上の課題や自らの役割の理解に努め、課題解決に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校給食や食育の充実に向けて、行動する。							
			校務分掌	担当する校務を適切に遂行する。				【備考・特記事項】			
5	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、管理職の指示を仰ぎながら、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や職員間で相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。							
			保護者等との連携	管理職の指示を仰ぎながら保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。				【備考・特記事項】			
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】						

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(事務長)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	-------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価	
1	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	事務職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	法令や学校事務に関する十分な専門的知識を基に、迅速かつ適切な学校事務の処理を行う。	知識・技能	事務職員として必要な法令等の知識や学校事務に関する専門的知識・技能を十分に持ち、迅速かつ適切に事務を処理する。					一次評価	二次評価
		経営への参画	専門職の立場から学校事務全般に関して助言するなどして、勤務校あるいは共同実施組織の運営に参画している。					【備考・特記事項】	
		適時判断力	適時適切に判断し、処理する。						
		工夫・改善	効率的な職務の遂行に向け、段取りや手順を整えるなど、率先して工夫・改善を行う。						
3	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、進んで課題解決に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、主体的に行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌等	職務上の課題や役割を的確に理解し、学校教育目標を踏まえた分掌上の計画を作成し、適切に校務を処理する。					【備考・特記事項】	
4	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、進んで保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や他の職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、進んで調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	進んで保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】					能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(主査)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価	
1 倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	事務職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2 学校事務	法令や学校事務に関する十分な専門的知識を基に、適切な学校事務の処理を行う。	知識・技能	事務職員として必要な法令等の知識や学校事務に関する専門的知識・技能を十分に持ち、期限内に適切に事務を処理する。					一次評価	二次評価
		経営への参画	学校事務全般に関して助言するなどして、勤務校あるいは共同実施組織の運営に参画している。					【備考・特記事項】	
		適時判断力	必要に応じて、管理職の指示を仰ぎながら、適時適切に判断し、処理する。						
		工夫・改善	効率的な職務の遂行に向け、段取りや手順を整えるなど、工夫・改善を行う。						
3 学校運営	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行し、課題解決に取り組む。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に参画し、主体的に行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌等	職務上の課題や役割を理解し、学校教育目標を踏まえた分掌上の計画を作成し、適切に校務を処理する。					【備考・特記事項】	
4 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や他の職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】					能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(副主査)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	-------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価			
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価		
1	倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
			研究・修養	事務職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	学校事務	法令や学校事務に関する専門的な知識を基に、適切な学校事務の処理を行う。	知識・技能	事務職員として必要な法令等の知識や学校事務に関する専門的知識・技能を持ち、期限内に適切に事務を処理する。					一次評価	二次評価
			経営への参画	勤務校あるいは共同実施組織の運営に積極的に参画している。					【備考・特記事項】	
			適時判断力	管理職の指示を仰ぎながら、適時適切に判断し、処理する。						
			工夫・改善	効率的な職務の遂行に向け、段取りや手順を整えるなど、工夫・改善を行うことができる。						
3	学校運営	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を計画的かつ適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に参画し、必要に応じて管理職の指示を仰ぎながら、行動する。					一次評価	二次評価
			校務分掌等	学校教育目標を踏まえ、計画的かつ適切に校務を処理する。					【備考・特記事項】	
4	調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、必要に応じて管理職の指示を仰ぎながら、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や他の職員と相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
			外部との連携	必要に応じて管理職の指示を仰ぎながら保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】					能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(主事)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価	
1 倫理 規律遵守 研修	児童生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。 学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	事務職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					【備考・特記事項】	
2 学校事務	法令や学校事務に関する専門的知識を習得し、適切な学校事務の処理を行う。	知識・技能	事務職員として必要な法令等の知識や学校事務に関する専門的知識・技能を習得し、期限内に適切に事務を処理する。					一次評価	二次評価
		経営への参画	勤務校あるいは共同実施組織の運営に意欲的に参画している。					【備考・特記事項】	
		適時判断力	報告・連絡・相談を適時行うことができる。					【備考・特記事項】	
		工夫・改善	効率的な職務の遂行に向け、段取りや手順を整えるなど、工夫・改善に取り組んでいる。					【備考・特記事項】	
3 学校運営	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する校務を適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に参画し、管理職の指示を仰ぎながら、行動する。					一次評価	二次評価
		校務分掌等	学校教育目標を踏まえ、適切に校務を処理する。					【備考・特記事項】	
4 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに、管理職の指示を仰ぎながら、保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	管理職や他の職員と相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	管理職の指示を仰ぎながら保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】					能力総合評価	

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(船長)	氏名	第一次評価者		第二次評価者	
----	--------------	------	----	--------	--	--------	--

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点		中間セルフチェック		最終申告		項目評価				
				自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】					
1	倫理 規律遵守	県民全体(地域)の奉仕者として、責任を持って職務を遂行するとともに、学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	責任感	県民全体(地域)の奉仕者として、船長の職責を踏まえ、職務に最後まで責任を持って取り組む。					一次 評価		二次 評価	
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】			
			不祥事防止	不祥事や事故等の防止に向けた取組及び不祥事を起こさない職場の体制づくりを積極的に行う。								
2	実習船運営	実習船の指揮監督権者として必要な知識・技能を持ち、校長の監督のもと、学校教育目標の実現に向けて、実習船の運営に取り組む。	知識活用	国や県の水産教育関連施策等を理解し、実習船の指揮監督権者として、実習船に関する業務に生かす。					一次 評価		二次 評価	
			目標等の設定	校長の監督のもと、学校の教育目標や教育課程等に基づく、適切な乗船実習の目標等を設定する。					【備考・特記事項】			
			組織の活性化	乗船実習の目標の実現に向けて、実習船運営組織を効果的に運営し、組織の活性化に取り組む。								
			課題解決	実習船の抱える運営上の課題を把握分析し、迅速に対応し解決するとともに、校長に必要な報告や適切な進言を行う。								
			開かれた学校づくり	保護者や地域の実態、要望等を的確に把握するとともに、学校の情報を適切に発信し、外部と連携した、学校運営に資する。								
3	実習船管理	実習船の指揮監督権者として、職員や実習生が安心して活動でき、充実した教育活動が行えるよう、適正な実習船管理を行う。	安全危機管理	船内の職員の安全危機管理に対する意識を高め、組織的に取り組む体制を整備し、事故の未然防止の取組を行う。					一次 評価		二次 評価	
			事務管理	関係帳簿書類の整備、記録・保管、諸会計に関する業務等の事務を、法令等に基づき適正に管理する。					【備考・特記事項】			
			施設・設備管理	実習船の施設設備等について、事故の未然防止に向けて点検を行うとともに、環境整備に努め、適正に管理する。								
4	職員の 管理・育成	実習船の指揮監督権者として、職員一人一人の服務、健康管理に努めるとともに、有効な人材活用と人材育成を行い、個々の職能開発、資質向上に取り組む。	服務、健康管理	職員の適正な服務管理、健康管理に努め、各職員のワークライフバランスの推進を考慮した適切な指導助言を行う。					一次 評価		二次 評価	
			人材活用	職員一人一人の能力や適性を基に、人材育成の視点を踏まえた職員配置を校長に進言する。					【備考・特記事項】			
			人材育成	職員の能力や業務実態を把握し、適切に評価し、指導助言を行い、フィードバックする。								
【改善点・次年度の目標等】				【備考・特記事項】				能力総合評価				

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(一等航海士・一等機関士・通信長)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	-------------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価	
1	生徒、保護者及び地域との関わりを大切にし、責任を持って職務を遂行する。学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次評価	二次評価
		規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	海事職としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2	実習生の実態に応じて、実習船の運航に関する専門的な知識・技能を持ち、報告・連絡・相談を随時行い、必要に応じて上司の指示を仰ぎながら、職務を適切に遂行する。	知識理解	実習船の運航に関する専門的知識・技能を持ち、適切に職務を遂行する。					一次評価	二次評価
		生徒理解	実習生の生徒理解に努め、実態に応じて適切に対応し職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		組織の活性化	乗船実習の目標の実現に向けて、実習船運営組織を効果的に運営し、組織の活性化に取り組む。						
		課題解決	実習船の抱える運営上の課題を把握分析し、報告・連絡・相談を随時行い、必要に応じて上司の指示を仰ぎながら課題を解決する。						
		安全危機管理	実習船の安全衛生に配慮し、機器や施設管理、環境整備について適切な提案や対応を行う。						
3	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として段取りや手順を整え、担当する業務を適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、行動する。					一次評価	二次評価
		分掌	分掌における役割を理解し、担当する業務を適切に遂行する。					【備考・特記事項】	
4	学校教育目標の実現に向け、進んで職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次評価	二次評価
		外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】				能力総合評価		

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(一等航海士・一等機関士・通信長)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	-------------------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】	一次評価	二次評価	
1 倫理 規律遵守 研修	生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。					一次 評価	二次 評価
		規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		研究・修養	海事職としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。						
2 実習船運航	実習生の実態に応じて、実習船の運航に関する必要な知識・技能を持ち、報告・連絡・相談を随時行い、上司の指示の基に、職務を適切に遂行する。	知識理解	実習船の運航に関する専門的知識・技能を持ち、適切に職務を遂行する。					一次 評価	二次 評価
		生徒理解	実習生の生徒理解に努め、実態に応じて適切に対応し職務を遂行する。					【備考・特記事項】	
		組織の活性化	乗船実習の目標の実現に向けて、与えられた役割を果たすだけでなく、必要に応じて進んで協力している。						
		課題解決	実習船の抱える運営上の課題を、報告・連絡・相談を随時行い、必要に応じて上司の指示を仰ぎながら迅速に対応し解決する。						
		安全危機管理	実習船の安全衛生に配慮し、職務遂行の過程で発生しうる潜在的リスクや内容を予測して行動する。						
3 分掌等	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する業務を適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、行動する。					一次 評価	二次 評価
		分掌	分掌における役割を理解し、担当する業務を適切に遂行する。					【備考・特記事項】	
4 調整・連携	学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。					一次 評価	二次 評価
		外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					【備考・特記事項】	
【改善点・次年度の目標等】			【備考・特記事項】						能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。



令和	年度 職務能力発揮シート	(主任の職)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	--------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】			
1	倫理 規律遵守 研修	生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
			研究・修養	学校職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	各技能に 関する職務	担当する職務に関する専門的知識・技能を持ち、実施計画に基づき、学校や生徒の実態に応じて適切に職務を遂行する。	知識・技能	担当する職務に関する専門的知識・技能及び経験を持ち、職務に活用している。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			計画等	学校や児童生徒の実態に応じて、職務に関する段取りや手順を整え、計画に基づき職務を遂行している。					
			課題解決	職務に関して、状況把握や情報収集を行い、その内容を職務の改善に活用している。					
			安全衛生	安全衛生面に配慮し、施設管理や環境整備等について適切な対応を行う。					
3	分掌等	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する業務を適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、行動する。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			分掌	分掌における役割を理解し、担当する業務を適切に遂行する。					
4	調整・連携	上司の指示を仰ぎながら、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	上司の指示を仰ぎながら、職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】				能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

令和	年度 職務能力発揮シート	(主任以外の職)	氏名	第一次評価者	第二次評価者
----	--------------	----------	----	--------	--------

評価項目	標準職務遂行能力	評価の着眼点	中間セルフチェック		最終申告		項目評価		
			自己評価	【備考・特記事項】	自己評価	【備考・特記事項】			
1	倫理 規律遵守 研修	生徒、保護者及び地域との関わりを大切に、責任を持って職務を遂行する。学校職員として高い倫理観、教育愛、使命感を有し、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行するとともに積極的に研修を行う。	責任感	遂行すべき職務に、最後まで責任を持って取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			規律遵守	学校職員として、高い倫理観、教育愛、使命感を持ち、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
			研究・修養	学校職員としての資質・能力向上のため、研究と修養に努め、新たに必要とされる知識や技能を取り入れる。					
2	技能に 関する職務	担当する職務に関する専門的知識・技能を持ち、実施計画に基づき、学校や生徒の実態に応じて適切に職務を遂行する。	知識・技能	担当する職務に関する専門的知識・技能を持ち、職務に活用している。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			計画等	学校や児童生徒の実態に応じて、職務に関する実施計画を作成し計画に基づき職務を遂行している。					
			課題解決	職務に関して、状況把握や情報収集を行い、その内容を職務の改善に活用している。					
			安全衛生	安全衛生面に配慮し、施設管理や環境整備等について適切な対応を行う。					
3	分掌等	学校教育目標の実現に向け、組織の一員として担当する業務を適切に遂行する。	学校運営	目指す学校像や学校教育目標の実現のため、学校全体の取組に積極的に参画し、行動する。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			分掌	分掌における役割を理解し、担当する業務を適切に遂行する。					
4	調整・連携	上司の指示を仰ぎながら、職員間で連携して業務に当たるとともに保護者や地域社会、関係機関との良好な関係を築き、相互に情報交換を行う。	職員間の連携	職員間で学校運営上の課題を共有するなど相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。			一次 評価	二次 評価	【備考・特記事項】
			外部との連携	必要に応じて保護者、地域、関係機関等と連絡・調整を行い、円滑な人間関係を築くことで学校運営に資する。					
【改善点・次年度の目標等】					【備考・特記事項】				能力総合評価

※1 評価対象者は、基礎事項(氏名等)及び太枠内のみ記入する。 ※2 ■部分は、第二次評価者が記入する。 ※3 各評価はS・A・B・C・Dの5段階とする。

(様式5)

簡易評価票(会計年度任用職員用)

令和 年度 能力/業績評価

職員	記入日	令和 年 月 日
	所属	
	氏名	
	業務内容	
	任期	

第一次 評価者	記入日	令和 年 月 日
	所属・職	
	氏名	

第二次 評価者	記入日	令和 年 月 日
	所属・職	
	氏名	

■能力評価

No	評価項目	職員	一次評価	二次評価
		確認		
1				
2				
3				

■業績評価

No	項目	職員	一次評価	二次評価
		確認		
1				
2				
3				

■備考・特記事項

職員	評価者

区分	能力評価	業績評価
評価		

(様式5)  
簡易評価票(会計年度任用職員用) 令和 年度 能力/業績評価

職員	記入日	令和 年 月 日	第一次 評価者	記入日	令和 年 月 日	第二次 評価者	記入日	令和 年 月 日
	所属	従事する業務内容を記入する。		所属・職	所属・職		所属・職	
	氏名			氏名	氏名		氏名	
	業務内容	〇〇に関する業務		任期のうち数回のみ勤務の場合は任期の右側に(うち〇日)と記入する。				
	任期	□月△日から◇月×日						

  

<b>■能力評価</b> 参考とする標準的な職の職務能力発揮シートを例に、職務内容に当てはまる評価項目を3つ以内で設定・記入する。				<b>■業績評価</b> 左の能力評価の評価項目(倫理・規律遵守除く)から3つ以内で設定・記入し、各評価項目の評価の着眼点から着眼点を1つ選んでカッコ書きで記入する(手引P58参照)。							
No	評価項目	職員		一次評価	二次評価	No	項目	職員		一次評価	二次評価
		確認						確認			
1	倫理・規律遵守	✓				1	学習指導等(指導実践)	✓			
2	学習指導等	✓				2	生徒指導等(児童生徒理解)	✓			
3	生徒指導等	✓									

  

<b>■備考・特記事項</b> 職員			評価者		
最終申告において、職務遂行状況等について、必要があれば「備考・特記事項」の欄に記入する。					

  

区分	能力評価	業績評価
評価		